

令和4年度「数学発展」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
3 年	美術科	数学	数学発展	1	選択
教科書	改訂版 最新 数学 I・II・A・B(数研出版)				
副教材	3TRIAL 数学 I・A、II・B(数研出版)				

学習の目的

- 1、2年の既習事項の理解を図り、様々な角度から問題を考察し解決を図る。
- 2 数学的なものの見方や表現および処理ができる能力を養成し、それらを活用する態度を育てる。

学習の目標

I 知識・技能	基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。
C 思考・判断・表現	既習内容を組み合わせて各問題を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。
E 学びに向かう力・人間性等	問題の根底にある考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。

つきたい力	与えられた条件下で課題の解決を目指し、柔軟に考えて試行錯誤を繰り返す能力を育てる。自ら考え解決することの良さを理解する。
-------	--

評価方法

	I	C	E
◇ 定期考査、課題考査	○	○	
◇ 課題・提出物の状況			○
・ 生徒相互による発表と解答の検討			

履修上の注意および学習のアドバイス等

◇ 予習について ①問題を自分なりに考え、解いておく。 ②教科書やチャートなどで基礎的な事項を確認する。 ③わからない内容や解けなかった問題を整理しておく。
◇ 授業について ①説明をしっかりと聞き、重要だと思った点をノートにまとめる。 ②解答解説では自分の答案を丁寧に添削し、別の解法の理解にもつとめる。 ③一時間一時間の授業が目標達成に繋がるという意識を持って臨む。
◇ 復習について ①解けなかった問題や間違った問題は、その日のうちに解き直す。 ②理解不十分な問題をまとめておき、質問にいくなど、完全理解に向けて行動する。

年間指導計画

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標	考査	思考を深める問い (C・E)	I	C	E
第1学期	4	オリエンテーション	演習中心の授業の受け方、準備の仕方について説明			○	○	
	5	3 T R I A L 数学 I A II B 数学 I II A の範囲の問題演習	既習事項の理解及び基本的な問題の演習	中間		○	○	
	6	3 T R I A L 数学 I A II B 数学 I II A の範囲の問題演習	既習事項の理解及び基本的な問題の演習	期末		○	○	
	7	3 T R I A L 数学 I A II B 数学 I II A の範囲の問題演習	既習事項の理解及び基本的な問題の演習			○	○	
第2学期	9	3 T R I A L 数学 I A II B 数学 I II A の範囲の問題演習	既習事項の理解及び基本的な問題の演習			○	○	
	10	3 T R I A L 数学 I A II B 数学 I II A B の範囲の問題演習	既習事項の理解及び基本的な問題の演習	中間		○	○	
	11	共通テストまで…共通テストタイプ問題演習	実践力の養成、既習内容の最終点検	期末			○	○
	12							
第3学期	1	共通テスト後…個別試験型問題演習	大学別の問題演習を重ね、応用力・実践力の養成を図る					
	2							
	3							

※行事等で変更になる場合があります。